授業科目名・形態	基礎看護技術演習Ⅱ（診療補助）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	黒澤繭子他	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	N4-1007npmht				

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰで学んだ専門知識や根拠を基に、診療に伴う援助技術を安全・安楽に実施するための方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 診療に伴う援助に関する基本技術の方法を習得できる。
2. 診療に伴う援助を安全・安楽に実施するための根拠に基づいた方法を理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　創傷管理技術：無菌操作、創傷処置、包帯法
第 2 回　感染防止の技術：ガウンテクニック
第 3 回　感染防止・排泄援助技術：一時的導尿
第 4 回　呼吸・循環を整える技術(1)：酸素吸入療法・吸引
第 5 回　呼吸・循環を整える技術(2)：冷罨法
第 6 回　与薬の技術(1)：注射作成
第 7 回　与薬の技術(2)：皮下・筋肉内注射
第 8 回　与薬の技術(3)：点滴静脈内注射
第 9 回　診察・検査・処置の介助技術：採血法
第10回　食事援助・与薬の技術：食事介助と経口与薬
第11回　フィジカルアセスメント(1)：呼吸器
第12回　フィジカルアセスメント(2)：循環器
第13回　フィジカルアセスメント(3)：腹部
第14回　演習技術の確認
第15回　技術演習のまとめ

【授業実施方法】様々な医療器具を使用した診療に伴う看護技術を基本的にグループで演習する

【事前・事後学習】

演習内容に関する事前学習（ワークシート、動画視聴）を毎回 30 分程度行うこと。
演習内容を踏まえ、復習（ワークシート、技術練習）を毎回 30 分程度行うこと。

【主な関連する科目】総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】基礎看護技術論・演習Ⅰと同様

【参考文献】基礎看護技術論Ⅰ・演習Ⅰと同様

【成績評価方法】

技術チェック（85%）、授業への取り組み姿勢・ワークシート提出・内容（15%）から総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

清潔操作、無菌操作をはじめ、安全に配慮して実施する看護技術となります。清潔・不潔について常に考えながら演習を行うことを心がけましょう。